事業番号	15　01　02

事業改善シート（30年度実施事業分）

■当初要求　□当初予算案　□補正予算案　□点検

事　業　名	公共交通機関を活用した学習活動推進事業	部局	教育委員会	課・室	教育政策課
		実施期間	H29 ～	E-mail	kyoiku@pref.nagano.lg.jp

総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン）　※計画策定中のため変更があります

政策推進の基本方針	学びの県づくり

1　事業の概要

現状（予算編成時）	・子どもたちを取り巻く環境は社会情勢の変化等とあいまって刻々と変化しており、子どもたちにとって必要となる学びを習得するには学校だけでは限界がある。 ・地域鉄道において、沿線人口の減少等により、輸送人員が減少傾向にある中で、子どもたちの鉄道利用機会が少ないことやマナー面での課題がある。	30年度要求額	2,819 千円
		職員数	5.00 人
目指す姿	・地域の玄関口である鉄道を利活用した学習を通じて、児童・生徒の社会性の向上を促す等これからの長野県を担う子どもたちの育成に寄与する。 （主な実施内容：鉄道や駅を利活用した学習活動）		

事業コスト

区　分（単位：千円）		28年度	29年度	30要求	30予算案
予算額	前年度繰越				
	当初予算			2,819	
	補正予算		1,892		
	合計（A）	0	1,892	2,819	0
Aの財源	一般財源				
	県　債				
	国庫支出金				
	その他	0	1,892	2,819	0
決　算　額（B）					
概算人件費	職員数（人）		5	5	
	概算人件費（C）	0	39,570	39,570	0
概算事業費（B（A）+C）		0	41,462	42,389	0

指標及びその達成状況

No	成果指標	28年度末	29年度末（見込）	30年度 目標値	30年度 成果	30年度 達成状況
	「学習の場」として鉄道を利活用し、地域を学ぶ県立高校数	―	8校	8校		

成果指標設定理由	以前と比べて社会との接点が少ない子どもたちの社会性を高めるため、より多くの児童・生徒に「教育の場」として鉄道を利活用してもらう。

指摘事項等への対応	指 摘 事 項	対　応
□ 監査 □ 決算特別委員会 □ 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	

2　事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

No	政策推進の基本方針	細事業名	30年度　実施内容（予定）	職員数（人）	29年度（当初）	30年度（要求）	30年度（予算案）
1	学び	高校生発案のイベントトレイン	・列車を活用し、「親子で信州を体験する」学習旅行を実施する。 ・学習の成果を夏休みの自由研究でとりまとめ、県立歴史館等で展示する。	1.00	243	774	
2	学び	公共交通利用促進マップの作成・配布	・高校生が駅からの徒歩圏内を図示したマップを作製し、駅周辺の隠れた名所やお店を紹介する。	1.00	－	750	
3	学び	地域鉄道利用促進動画コンテスト	・高校生が映像を作成、しなの鉄道の車内モニターや駅で放映。 ・最優秀作品は、県内テレビ局で放映。	2.00	940	1,145	
4	学び	軽井沢駅屋台運営	・軽井沢駅屋台を貸し切り、各校の高校生が交代で展示・物販等を行う。	1.00	―	150	
			合計	5.00	1,183	2,819	0

※「2　事業を構成する細事業の内容」の「施策推進の基本方針」の略称については次のとおりです。
学び…学びの県づくり　産業…産業の生産性が高い県づくり　快適…人をひきつける快適な県づくり　いのち…いのちを守り育む県づくり
居場所・出番…誰にでも居場所と出番がある県づくり　自治…自治の力みなぎる県づくり